

「堂々川；活動テーマ「ホタルと花と砂留と」

2024(令和6)年10月29日堂々川ホタル同好会情報紙 2024年度第6号(創刊234号)

1. 10月定例会は10月20日21名参加で実施しました。
2. 10月2日 中国放送イマナマで、彼岸花の映像が放映されました。
3. 10月の堂々川ホタル同好会の主な出来事。

堂々川の彼岸花が、広島テレビ・NHK・井原放送で放映され、中国新聞・山陽新聞に記事が掲載されました。

今回の作業は、4番砂留～6番砂留の草刈り整備清掃作業、河原&道路のゴミ拾い、各種花の植栽(ムスリム スイセン等)、鶏ふん肥料の散布(彼岸花&桜)花壇の造作でした。

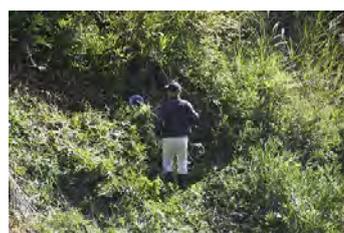
4.目で見える事例



ミーティング



ミーティング



草刈り整備



草刈り整備



花壇の整備



道路のゴミ拾い



満開の彼岸花



彼岸花を楽しむ人たち



中国新聞掲載記事

5.次回の定例会

11月24日(日) 1番砂留駐車場に集合 8:00～10:00

作業内容：彼岸花の開花する場の草刈りが中心。猪が掘った場の修正、ごみ拾い
彼岸花開花までには数回草刈りを行います。空いた時間ご協力ください

6. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一

7. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される人は11月20日までに ライン調整さんへ

会員のひとりごと 『ホタルと花と砂留と』

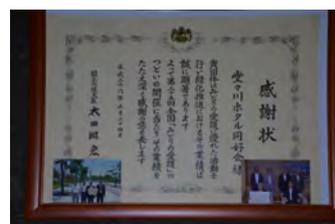
毎日の、繰り返しの生活の中の一部となっているホタル同好会のボランティアを、なぜしているのだろうか。そんな思いを巡らせながら入会して早7年ほどになる。毎年1週間しか咲かない彼岸花、1週間がピークのホタル、この短い期間のために1年かけて何人もの人が汗を流している。歴史的な産物の砂留、日々のいそがしい生活のなかでは、この意味すら考えず日々が過ぎていく。そんな私たちの穏やかな生活の中で、毎日のようにテレビ画面に映し出される能登の惨劇、土砂災害の恐ろしい映像を見た時、改めて彼岸花の開花を喜んでもらえたり、ホタルのかすかな光を見つけては歓声を上げるという、小さいかもしれないけれど大きな幸せのためにも、この活動は続けていく必要があることを深く感じている。観光化することが目的ではなく、一つのことを目指し、様々な人の知恵や協力をいただき完成していく、それもすべて地域の人々の喜びになるという、感動することで、元気で生きる力につながっていく、そのためにも、これからもこの活動を続けていきたい。これは、人のためだけでなく、自分自身のためにもなっていると思う。活動しているみんなが人のためでありながら自分のためにもつながっていると信じ活動を続けてほしい。これからの計画は一番砂留の一带を様々な花を楽しめるスポットにしていきたい。また、5番砂留の彼岸花の群生を、より一層密にしていこうための活動を目標にした自然にふれあいながら健康のため、また地域の新しい出会いを楽しみながら後世にその思いを残していきたい。



花壇造りを始めています



ラブリバー認定3 平成17年度



平成26年国土交通大臣表彰



堂々川彼岸花基金

ご寄付頂いた地域企業・団体・個人の皆様ありがとうございます

亀川病院、キングパーツ(株)、テラル(株)、こどもえんみどり、(株)御領精螺、しげまさ歯科、まが医院、(有)ジャパン・ラム、(有)石宝、(有)中国美装サービス、(有)プランネットエンジニアリング、楊貴妃、ゆうゆう神辺、ワンエイト(株)、(有)神辺ふかしな葬祭、(株)フカイ、御領郵便局、重政工務店、福山市農業協同組合、松井製畳、(株)森山仏商
(敬称略 順不同)

個人名は記載しておりません。又、法人名の不掲載もごさいます。

ご支援ありがとうございます。ご寄付頂きました支援金は有効に且つ大切にに使わせていただきます。

堂々川彼岸花基金の詳細はホームページに詳しく記載しています。ご覧下さい！！

堂々川ホタル同好会のホームページアドレスは dodogawa.com です。

